

Press Release

Apr 5, 2023 ID: 23-S008

ボルボが世界で展開する「Volvo Studio」に 世界初の EV 専用ブランドスペースが東京にオープン ～スカンジナビアのモダンラグジュアリーとデジタルテクノロジーが融合～

ボルボ・カー・ジャパンは、東京・青山の新たなランドマークとして、EV(電気自動車)に特化した全く新しいブランド発信拠点「Volvo Studio Tokyo」を 2023 年 4 月 8 日(土)にオープンします。

「Volvo Studio Tokyo」は、ストックホルム、ニューヨーク、ミラノ、ワルシャワ、上海にある Volvo Studio の一つであり、2017 年開設の「Volvo Studio Aoyama」を引き継ぎ、規模、内容を格段にスケールアップし、新たに EV に特化したブランドスペースとして、オープンします。Volvo Studio として EV に特化したのは、この「Volvo Studio Tokyo」が世界で初となります。また、日本における EV に特化したショールームとしても、国内最大級の広さとなります。

2040 年までにクライメートニュートラルな企業になることを目指すボルボ・カーズは、2025 年にグローバルで EV 販売の割合を 50%まで伸ばし(日本国内における EV 販売の割合は 45%)、2030 年までにグローバルで販売するすべての新車を EV にするという高い目標を掲げています。

「Volvo Studio Tokyo」には、サステナビリティとプレミアムな体験を実現する場所として、随所にボルボの価値観を反映させています。その価値観とは、スカンジナビアンデザインの本質である「シンプル」「ウェルビーイング」に基づいており、人々と地球環境、そして未来を見据えた真のプレミアムを追求しています。スタジオの電力は 100%クライメートニュートラル電力で賄われ、新たに内装を設置するにあたり「Volvo Studio Aoyama」の内装素材を最大限再利用しました。サステナビリティを実現しながらも、ラグジュアリーな空気を纏うスタジオ内装は、ボルボ・カーズ創業の地であるスウェーデンの空・大地・森を表現しており、スカンジナビアンデザインのインテリアを設えたモダンな空間に、最新デジタルテクノロジーを融合させ、スタジオを訪れるお客様は、五感でボルボの世界をご体験いただけます。

車のショールーム特有の“敷居の高さ”を払しょくした本スタジオでは車の販売を行いません。近年、車の検討はオンラインで完結するお客様も多く、リアル店舗は購入前に実車を見たり、色を確認したり、試乗をするための場としてニーズが変化しつつあります。そのため本スタジオはより多くのお客様が気軽に入れる場所として工夫されています。地下鉄銀座線の外苑前駅から徒歩から近い青山通りに面したアクセスの良い立地に加え、本スタジオに常駐するのは販売員ではなく、“ブランド・アンバサダー”と呼ばれる、ボルボブランドと EV そして、スウェーデンカルチャーに精通したスタッフです。お客様は気になる EV を見て触れて、ボルボや知りたい情報を手に入れることができます。またネットで事前予約することで、90 分の試乗が出来るだけでなく、試乗枠が空いていれば、その場で短時間の試乗をすることも可能です。運転に自信がない方は、専門のドライバーによる助手席試乗もあります。

さらに、スマートフォンに専用アプリをダウンロード頂くと、ボルボの世界をさらに深く探求することができます。ボルボの歴史やブランドストーリーを紐解くデジタルコンテンツ、AR で出現するサステナビリティを学ぶためのトリビアクイズなど

が楽しめます。また、Google アシスタント機能や、展示車に乗り込み、目の前の大スクリーンに広がるストックホルムの街を駆け抜ける EV 走行のバーチャルドライブ、そして“Fika(フィーカ)”というスウェーデンの習慣であるコーヒープレイクを体験できるカフェサービスなど、多種多様な体験をご用意しています。「Volvo Studio Tokyo」の全てのコンテンツは、この世界初となるスペースのために開発・制作されました。

デジタルネイティブ世代と言われる若年層のお客様にとっても垣根を低くし、本スタジオでのデジタル体験を通じて、ボルボが培ってきた「セーフティ」と「サステナビリティ」に対するイノベーティブな価値と発想を知っていただき、ブランドとの新たな接点の場になることを目指しています。ボルボの EV を見てみたい、触ってみたいという方はもちろん、車を所有する予定はなくても通りがかりに立ち寄ったり、待ち合わせ場所として利用したり、新しいデジタル体験を試してみたいという方など、多くのお客様のお越しをお待ちしています。

Volvo Studio Tokyo 概要

住所	東京都港区南青山 3 丁目 1-34 「3rd MINAMI AOYAMA」1F (青山通り沿いに位置)
営業時間	月曜～金曜 12:00-19:00、土曜・日曜・祝日 10:00-19:00
定休日	毎週水曜日、第1・第3火曜日
電話番号	03-6773-1353 (4/8より)
施設URL	https://www.volvocars.com/jp/studios/tokyo/
敷地面積	491.45m ²

【Volvo Studio Tokyo の主なコンテンツ】

■ スカンジナビアの空気を全身で感じる洗練された空間

スタジオ全体に表現されたのは、スウェーデンの色鮮やかな空、静寂な森、西海岸特有の荒波に削られた岩。その空間に置かれているのはモダンなスカンジナビアンデザインのインテリア。天井に広がる大型照明は、時間によって色合いが変わり、夜間にはオーロラが広がり、幻想的な光に包まれます。

■ AR 技術を使ったデジタルアクティビティ

入口に設置されている QR コードからアプリをダウンロードすることで、AR を使った様々なデジタルアクティビティが体験できます。各スペースに置かれたマーカーをスキャンしてアクティビティをスタート。AR 空間に浮かぶアイコンをタップしてボルボの歴史やサステナビリティの取り組みに触れることができます。また、ボルボ車に搭載されている Google アシスタント機能の体験をするなど、デジタル技術を使ったコンテンツをお楽しみいただけます。

■ スtockホルムの街並みを走行する「バーチャルドライブ」

展示されている EV の目の前には大きなスクリーンが設置され、実際に車に乗り込んで、臨場感あふれるバーチャルドライブを体験いただけます。ストックホルムの名所を巡る約 7 分間のドライブは、実際にストックホルム市内を走行しているような没入感が味わえます。本映像は「Volvo Studio Tokyo」のためだけにストックホルムで撮影された特別なコンテンツです。体験後、試乗用 EV に空きがあればそのまま実車の試乗も可能。実際に乗らないと分からない EV 特有のドライブフィールをシームレスに体験できます。

■ フィーカで大切な人との心豊かな時間を楽しむ

スウェーデン人の生活に根付いたカフェタイム“フィーカ”は、心身のリフレッシュや、コミュニケーションの活性化、忙しい中でもメリハリを持つために大切にされている文化です。ストックホルムのマイクロロースターである「STOCKHOLM ROAST」の特別なコーヒーもお楽しみ頂けます。テーブルに設置されているマーカーをアプリで読み込むと、スウェーデンの原風景をイメージした愛らしいモニュメントが出現し、北欧文化を学ぶことができます。

■ 体験をサポートする“ブランド・アンバサダー”が常駐

「Volvo Studio Tokyo」ではお客様への車の販売は行いません。購入段階ではないけれど EV を知りたい方、たまたま近くを通った方、新しいデジタル体験をしたい方など、どんな方でも気兼ねなく立ち寄っていただける場所となっています。ボルボに関する情報はもちろんのこと、スタジオ内のアクティビティや周辺情報を知り尽くした “ブランド・アンバサダー”が体験をサポートします。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報

vcjpr@volvocars.com



[More Images >](#)

Copyright © 2023 Volvo Car Japan Limited